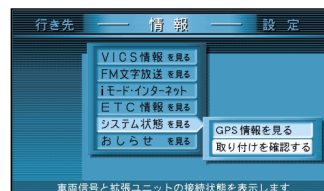


## 本機の実取り付け・配線を確認する

メニュー画面 **情報** から



システム状態を見る、  
取り付けを確認する を選ぶ

取り付けチェック画面が  
表示されます。



### お願い

表示が変化しないときは、もう一度取り付け・配線を確認してください。  
画面上での確認は、停車してから行ってください。  
走行中は、しないでください。



ジョイスティック  
決定ボタンで

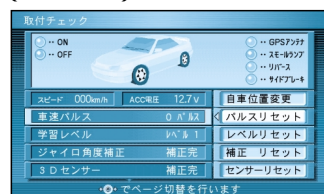
## 取り付け・配線を確認する

	ON	OFF
GPSアンテナ	GPS アンテナが正しく接続されている	接続されていないか、接続が不完全
スモールランプ	車のライトスイッチがONになっている	車のライトスイッチがOFFになっている
リバース	チェンジレバーがR (リバース) になっている	チェンジレバーがR (リバース) 以外になっている
サイドブレーキ	サイドブレーキを引いている	サイドブレーキを引いていない

- 自車の速度
- ACC 電圧  
12 V (11 V ~ 16 V) になっていますか？
- 車速パルス  
安全な場所で車を走らせ、次に停車したとき、数字が変化していますか？
- 距離補正の精度 (次ページ参照)  
レベル3 が最も誤差の少ない状態です。
- ナビゲーション本体の実取り付け角度の自動補正状態  
補正完になっていますか？
- 3D センサーの自動補正状態  
補正完になっていますか？

## 拡張ユニットの実取り付け・配線を確認する

取り付けチェック画面から  
(上記)



ジョイスティックを  
左右に倒す

拡張ユニット画面が表示  
されます。



再度ジョイスティックを  
左右に倒すと、取り付けチェック  
画面に戻ります。

## 拡張ユニットの実取り付け・配線を確認する

	接続	未接続
メモリーカード	メモリーカード が正しく挿入されている	挿入されていないか、挿入が不完全
通信ユニット	通信ユニット が正しく接続されている	接続されていないか、接続が不完全
ETCユニット	ETCユニット が正しく接続されている	接続されていないか、接続が不完全

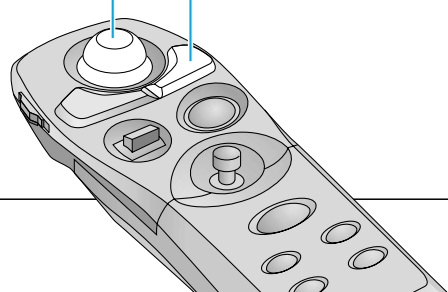
### 別売の拡張ユニットについて

- メモリーカード** : 市販のスマートメディア (容量 4 MB ~ 64 MB、3.3 V 専用) を使用できます。容量が 2 MB または 128 MB のものや、5 V 専用のものは使用できません。
- 通信ユニット** : 別売のモバイルコミュニケーションユニット (品番: CY-CM200D/CY-HCM200D) を接続できます。モバイルコミュニケーションユニット CY-CM100D は、本機に接続できません。
- ETC ユニット** : 別売の ETC 車載器 (品番: CY-ET100D) を、別売のカーナビゲーション用 ETC 車載器接続コード (品番: CA-EC20D) を使って接続できます。

詳しくは、取扱説明書 (応用編) と、各機器の取扱説明書をご覧ください。

ジョイスティック/決定

メニュー





本機は車から出力される「車速パルス」とGPSのデータをもとに設定した「車速補正係数」を利用して距離を算出しています。（全自動距離補正システム）

このシステムを利用して、地図画面上の自車マークと、実際の自車位置との誤差が自動的に補正され、現在地を正確に表示することができます。

ただし、次のような場合は、地図画面上の自車マークが実際の自車位置に表示されない場合があります。

- 初めて使用する場合
- 同じ車で、違うタイヤに交換した場合
- 同じ車で、タイヤをローテーションした場合
- 本機を別の車に載せ替えた場合

見通しの良い道路をしばらく（約30分）走行すると、自車位置の誤差が補正されます。

それでも自車位置が正しく表示されないときは、取り付け・配線を確認し、正しく接続されているようであれば、距離補正をリセットしてください。（右ページ）

### 走行時のお願い

オープニング画面が終了するまでは発進させないでください。平均時速 20 km 以上で見通しの良い場所を走行してください。

### お知らせ

市街地などで渋滞・停車を頻繁にくり返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。3Dセンサーの補正完了まで、50 km ぐらいの走行を要する場合があります。車種によっては、補正処理を行っている間に速度をあげると自車マークが動かなくなることがありますが、故障ではありません。

### 車速補正係数について

車速補正係数は車によって値が異なります。本機は、GPSのデータを用いて、それぞれの車に合った車速補正係数を自動的に設定します。また、タイヤの摩耗度や空気圧によっても値が変動するため、本機は常に車速補正係数を補正しています。

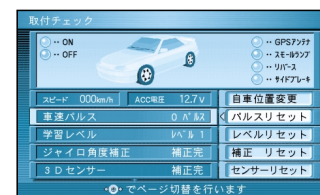
### 距離補正の精度（学習レベル）について

距離補正の精度は「学習レベル」で表され、レベル3が最も誤差の少ない状態です。

## 距離補正をリセットするには

取付チェック画面（14 ページ）で車速パルス、学習レベル、3Dセンサーをリセットしてください。

### 車速パルスをリセットするには



車速パルスがリセットされます。

パルスリセット を選ぶ

### 学習レベルをリセットするには



学習レベルがリセットされます。

レベルリセット を選ぶ

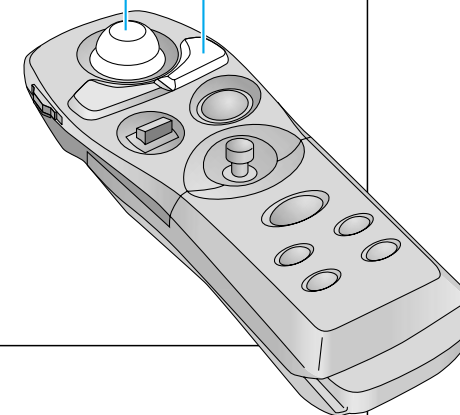
### 3Dセンサーをリセットするには



3Dセンサーがリセットされます。

センサーリセット を選ぶ

ジョイスティック/決定  
メニュー



## 距離補正をリセットしたら...

- ① **現在地** を押して、現在地画面を表示させ、GPS信号を受信していることを確認してから、
- ② 見通しの良い道路をしばらく（約30分）走行してください。

走行中、自車マークが実際の自車位置と同じ場所に表示され、自車の動きと共に動いていれば、全自動距離補正システムは正しく働いています。

# 確認する

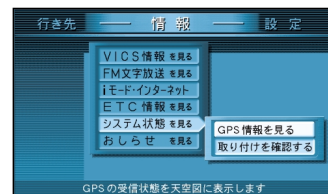
## GPS 衛星からの受信状態を確認する



ジョイスティック  
決定ボタンで

GPS マークが点滅する、または表示されないときは、見通しの良い場所で、受信状態を確認してください。

メニュー画面 **情報** から



**システム状態を見る**、  
**GPS 情報を見る** を選ぶ



GPS 天空図が表示されます。

3 つ以上の衛星番号が受信中になっていることと緯度経度が表示されていることを確認してください。

**GPS 情報**

衛星番号/現在地の緯度・経度/現在の時刻/日付け/仰角 を表示します。

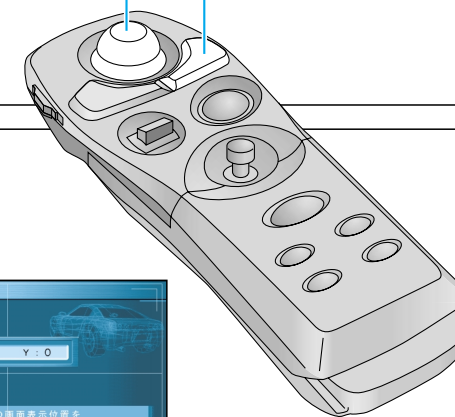
車両から GPS 衛星を見上げたときの角度。仰角の低い位置にある衛星は、障害物の影響を受けやすく、受信しにくくなります。

**お願い**

いつも受信中になっていない場合は、GPS アンテナの配線および取り付けを確認してください。

ジョイスティック/決定

メニュー



準備

確認する

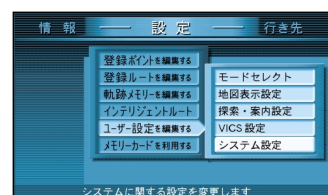
## 画面表示位置を調整する



ジョイスティック  
決定ボタンで

画面の位置が気になる場合に調整してください。通常、この操作は必要ありません。

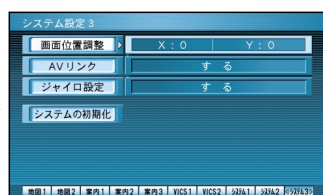
メニュー画面 **設定** から



**ユーザー設定を編集する**  
**システム設定** を選ぶ

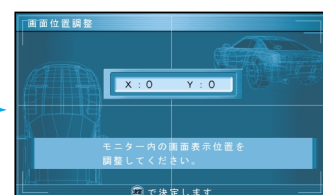
システム設定 1 の画面が表示されます

システム設定 3 の画面で



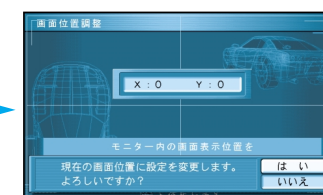
**画面位置調整** を選ぶ

システム設定 3 の画面を表示させるには、ジョイスティックを左右に動かす



ジョイスティックを上下左右に動かし、表示位置を中央に調整し、**決定** を押す

約 5 秒間、何も操作しないと設定は取り消されます。



**はい** を選ぶ

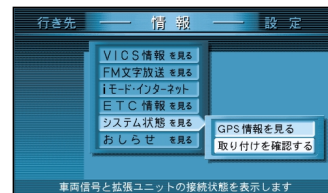
## 自車位置を変更する



ジョイスティック  
決定ボタンで

自車がいる地点と地図上の自車位置が異なる場合に調整します。通常、この操作は必要ありません。

メニュー画面 **情報** から



**システム状態を見る**、  
**取り付けを確認する** を選ぶ



**自車位置変更** を選ぶ



ジョイスティックを上下左右に動かし、位置を調整し、**決定** を押す



ジョイスティックを上下左右に動かし、自車マークの方向を進行方向に合わせ、**決定** を押す